

2学期末保護者会あいさつ

喜多方市立高郷中学校長 木野 秀樹

本日は、師走始めのお忙しい中、保護者会にご参加いただき、誠にありがとうございます。1学期の保護者会ではコロナ対策のため、授業参観を行いませんでしたから、今日の授業をご覧になり、それぞれの学年において、より難しくなった授業内容にも、一生懸命学習に励むお子様の姿に、1年前とは格段にたくましく、頼もしく成長した姿を感じていただけたのではないのでしょうか。

思えば、この1年はコロナの脅威がいかにともしがたく、さまざまな行事や取り組みに、大きな影響を及ぼすことになりました。1学期のいわゆる第1波の時の臨時休業はもちろん、これまで経験したことのない逼迫した対応に、保護者の皆様には大変ご心配をおかけしました。特に3年生にとっては部活動の最後を締めくくる中体連大会の中止と、おそらく最も楽しみにしていたであろう修学旅行の変更には、我々教員としても残念な思いを今も払拭することはできません。なんとか別の形で代替することはできましたが、代替の行事ではその思いを、コロナ禍の前と全くおなじに戻すことはできないということも改めて感じることとなりました。

ただ、そんなコロナ禍の中にあっても唯一変わらないものがあります。それは、子ども達の屈託のない笑顔です。子ども達はコロナ禍以前と何も変わることなく、明るい笑顔を見せてくれています。そしてその笑顔はご覧いただいたように、先日の花丘祭において結集し、遺憾なくその輝きを発していました。やってよかった。本当に救われた思いがしました。4月23日から5月15日までの臨時休業期間中、物音1つしない校舎をひとり歩いた時の寂寥感が嘘のようにも思えた瞬間でした。そして、短い準備期間の中、先生方と生徒が一緒になって、花丘祭という1つの目標に向かい、同じ時間と場所を共有し、心を通わせる姿、これこそが学校というものの本質であり、希望であると、改めて感じた瞬間でもありました。

学校として考えなくてはならない具体的な課題はもちろんありますが、コロナ禍における今だからこそ、子ども達と思いを共有する時間を一番に大切にしながら、子ども達の笑顔あふれる学校づくりに努めて参りたいと思います。

2020年もあと少しで終わります。2021年が希望にあふれる1年になることを願い、これからもご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、2学期末保護者会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。